

ひきこもりに関するアンケート結果(概要版)

【アンケート主旨】

近年、全国的な課題となっているひきこもり状態の方について、本市の状況を確認し、今後の支援の方向性の検討や支援体制の参考とするため、民生委員の協力により実施したもの。

【対象者】258人(主任児童委員を除く民生委員)

【回収】202人

【回収率】78.3%

【調査時点】令和3年7月1日

★各民生委員が担当地区内でひきこもり状態の方を76人把握していることがわかった。

「ひきこもり状態」の条件は、下記をすべて満たすことと定義して調査を行った。

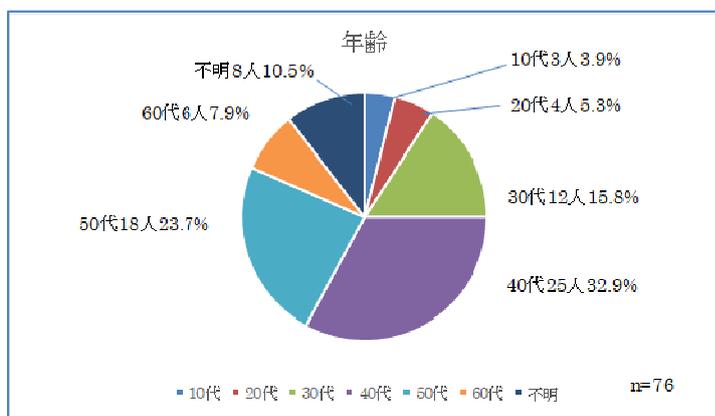
- ①年齢は、15歳以上でおおむね65歳まで
- ②調査時点で、就労も就学もしていない
- ③家族以外の人との交流がほとんどない
(散歩やコンビニなど、他者との会話がないうちを出る場合も対象にする)
- ④6ヶ月以上続けて自宅などにひきこもっている

【アンケート結果の概要】

(1)年代と性別

40代が32.9%と最も多く、続いて50代23.7%、30代15.8%であった。40代までが全体の過半数を超えている。

男女別では男性が81.6%、女性が15.8%であった。



(2)ひきこもりの状態について

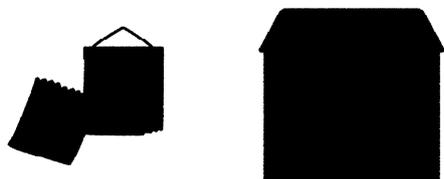
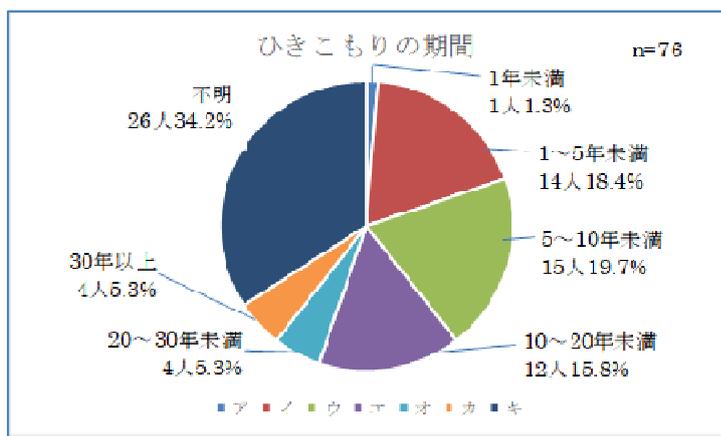
「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が34.2%と最も多かった。

「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」「不明」を合わせると29人(38.2%)で、全体の約4割が家から出ず、社会とのつながりが薄い又は無いに近い状態と思われる。

番号	状況	人	%
1	ふだんは家にいるが、自分の趣味・関心事のあるときにだけ外に出る	12	15.8
2	ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	26	34.2
3	自室からは出るが、家からは出ない	12	15.8
4	自室からほとんど出ない	7	9.2
5	病氣療養中である	2	2.6
6	不明	15	19.7
7	その他	7	9.2

(3)ひきこもりの期間について

「不明」が34.2%と最も多く、「5～10年未満」が19.7%、「1～5年未満」が18.4%、「10～20年未満」が15.8%と拮抗しており、20年以上が10.6%である。



【アンケート結果の概要】

(4) ひきこもり支援について①

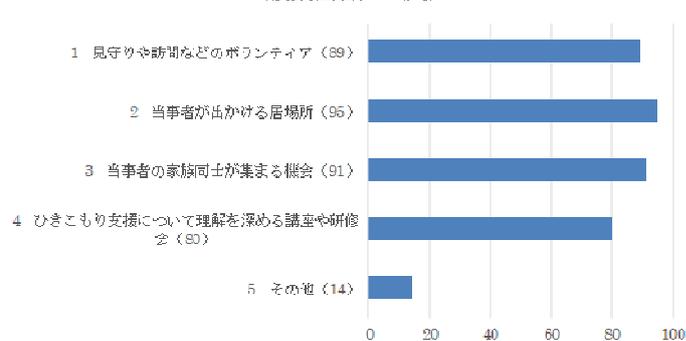
「当事者が出かける居場所」「当事者の家族同士が集まる機会」「見守りや訪問などのボランティア」「ひきこもり支援について理解を深める講座や研修会」が95人から80人と多かった。

(5) ひきこもり支援について②

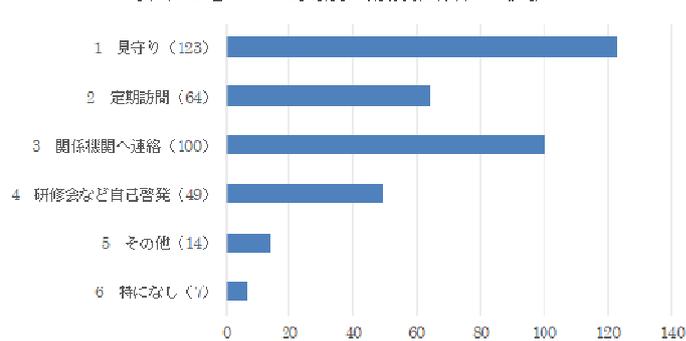
「見守り」が123人で最も多く、回答者の約6割を占める。続いて「関係機関への連絡」100人、「定期訪問」64人、「研修会などの自己啓発」49人であった。



問4 ひきこもり支援のために、あると良いもの
(複数回答) (人)



問5 ひきこもり支援のために、民生委員として自身ができそうな支援 (複数回答) (人)



【アンケートから見えた課題と今後の取組方針】

今回のアンケート調査では、地域で様々な見守りや支援活動を行っている民生委員からの情報をいただくことにより、本市における調査時点での人数や支援への課題、地域の積極的な支援への姿勢などを確認することができました。

一方、人数については、内閣府調査から推計した人数※の1割程度であることから、コロナ禍での調査であったことを考慮しても、他にも支援を必要としている方が幅広い年齢層に存在していると思われます。今後、相談窓口の周知徹底や相談に行くことを後押しするための啓発、関係機関の連携した相談体制・支援体制等が課題と考えられます。

これらの課題を踏まえ、第3期津山市教育振興基本計画の基本方針に基づき、ひきこもり支援に向けた取組を進めてまいります。

※内閣府が平成27年度に実施した「若者の生活に関する調査」及び平成30年度に実施した「生活状況に関する調査」の結果から、本市におけるひきこもり状態の方の人数を推計すると800人程度となります(推計値を本市の人口で按分したもの)。

【第3期津山市教育振興基本計画 主な取組抜粋 (令和4年2月24策定)】

- ◇不登校やニート、ひきこもり等の子どもや若者等に、津山市子ども・若者支援地域協議会を通じて、横断的かつ継続的な社会参加、自立への切れ目のない支援を実施します。
- ◇関係するNPO法人等と必要な連携を図りながら、個々の支援にあたります。
- ◇支援対象者に関する会議等において、臨床心理士や弁護士等の専門家から適切な助言を得るとともに、相談員を含む職員研修を実施して資質の向上を図り、より適切な対応ができる体制を整えます。
- ◇不登校やニート、ひきこもり等の子どもや若者等に、義務教育内容を学び直す機会を提供し、学びへの意欲と自己肯定感を育みます。



アンケートに関するお問い合わせ・連絡先

津山市青少年育成センター ☎0868-32-2120

〒708-8501津山市山北520 津山市教育委員会 次世代育成課